

平成29年6月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号: 8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成29年5月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成29年5月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 28 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位:百万円)	572	559	529	473	468	738	551	401	525	362	562	563
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	92,445	96,278	70,156	74,405	68,455	91,113	88,556	61,925	69,423	55,772	96,989	76,584
外国為替取引口座数 (単位:口座)	272,521	274,164	275,538	276,891	278,360	280,816	282,791	284,866	286,494	287,842	289,389	290,820
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	60,316	60,224	59,769	59,413	59,478	57,133	57,278	58,715	58,608	59,136	60,882	61,201
一般顧客	49,244	47,950	48,396	48,825	49,273	48,465	48,378	49,173	49,046	48,987	49,458	49,201
金融法人 (B to B)	11,072	12,274	11,373	10,588	10,205	8,668	8,900	9,541	9,562	10,148	11,423	12,000
マネバカード口座数 (単位:口座)	(平成29年3月分からの開示項目であるため非開示であります)											

年 月	平成 29 年											
	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
営業収益 (単位:百万円)	458	412	521	469	488							
外国為替取引高 (単位:百万通貨単位)	95,875	77,214	75,386	63,192	72,786							
外国為替取引口座数 (単位:口座)	292,553	294,472	296,861	298,467	300,139							
外国為替取引預り証拠金 (単位:百万円)	60,221	60,814	60,325	59,995	61,529							
一般顧客	49,392	49,446	49,784	50,108	50,819							
金融法人 (B to B)	10,828	11,368	10,541	9,886	10,709							
マネバカード口座数 (単位:口座)	(非開示)		73,733	77,503	81,189							

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
2. 外国為替取引口座数、マネバカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとB to B取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替市場は、米ドル／円については、1ドル＝111円台前半で取引が始まり、7日に決選投票を迎えたフランス大統領選挙の趨勢が注目される中、親EU派のマクロン氏の優勢が報じられるとユーロ買いにつれて円安の流れとなり、投票結果がマクロン氏の勝利となったことや米国金利の上昇を受けて9日から11日にかけて114円台前半の高値をつけました。ところが、その後、トランプ大統領のコミーFBI長官の解任に伴ういわゆるロシアゲート問題が浮上するなど米国の政治リスクが高まるとドル売り円買いの流れに一転し、18日には110円台前半の安値をつけました。その後は、米国の経済指標の結果や北朝鮮によるミサイル発射実験等の強弱材料を背景に方向感に乏しい相場展開となり、110円台後半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、フランス大統領選挙を巡る相場変動もありましたが、総じて変動率は低調に推移し、米ドル／円を含めた全体としての変動率は前月をやや下回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、主要通貨ペアのスプレッドを縮小したこともあり、前月比15%増加の727億通貨単位となりました。一方、営業収益は、スプレッド縮小による収益率の低下があった一方、システム子会社の売上高の増加等があったことから前月比4%増加の488百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,672口座増加の300,139口座、マネパカード口座数は前月比3,686口座増加の81,189口座と堅調に増加し、外国為替取引預り証拠金も、前月比1,534百万円増加の61,529百万円となりました。

以 上